



# 原子力産業新聞

2014年6月26日  
 平成26年(第2724号)  
 毎週木曜日発行  
 購読料1年分前金(消費税、国内送料込)  
 会員 9,500円(1部220円)  
 非会員 15,000円(1部350円)  
 (当会会員は年会費13万円に本紙購読料の9,500円を含む。1口1部)

発行所 日本原子力産業協会

〒105-8605 東京都港区虎ノ門1丁目2番8号 虎ノ門平塔タワー9階 郵便振替 00150-5-5895  
 電話 03(6812)7103 FAX03(6812)7110 ホームページ <http://www.jaif.or.jp/> メールアドレス [shinbun@jaif.or.jp](mailto:shinbun@jaif.or.jp)

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

## 政策の具体化議論に着手

原子力小委員会が初会合

### 技術や人材の確保焦点

新たなエネルギー基本計画の具体化に向け、分野ごとの検討を行う委員会の一つとなる原子力小委員会(委員長・安井幸一、副委員長・田中俊一)が、22日(木)午後、東京都港区虎ノ門の日本原子力産業協会会館で初会合を開いた。初会合で、資源エネルギー庁より、今後の原子力利用に当たっての論点として、①福島再生・復興に向けた取組②原子力依存度低下に向けた課題③不断の安全性向上の追及④技術・人材の維持・発展⑤競争環境⑥原子力事業のあり方⑦使用済み燃料問題の解決に向けた取組と核燃料サイクル政策の推進⑧国民・自治体との信頼関係構築⑨政界の原子力平和利用と核不拡散への貢献が示された。



原子力小委員会初会合の様子

委員からは、エネルギー・ミックスの議論に関連して、山口彰氏(大阪大学教授)は、各エネルギー源の持つリスク要因を分析し、いかに緩和するかとして、長所を最大限に活かすアプローチを考へていく必要を指摘し、また、山名元氏(京都大学教授)は、エネルギー

評価会合の議事運営改善を求める。敦賀敷地内破砕帯日本原子力発電は二十日、原子力規制委員会が四月二十一日に開いた敦賀敷地内破砕帯の破砕帯調査報告書の提出した。

## 福島に研究拠点整備へ

廃炉国際共研 国内外の叢智を結集

下村博文文科相は、二十日、福島第一原子力発電所廃炉に向けて、国内外の産学官の叢智を結集し、中長期的課題に取り組んでいくことを示した。

作業に携わる従事者の労力とともに、今後の燃料デブリ取り出し、臨界管理といった課題から、廃炉工程を加速化する必要を痛感したなどと述べた。その上で、これら中長期的課題に対処

するべく、研究開発、人材確保の拠点となる「廃炉国際共同研究センター」(仮称)を福島に整備することとし、首相他、経済産業相、環境相、復興相とも了解に至ったとしている。

### 川内1、2号機

の再補正提出

九州電力は二十四日、川内原子力発電所1、2号機の新規規制基準に係る適合性審査に伴う申請の補正書を原子力規制委員会に再度提出した。四月三十日に提出した補正書に対し、規制委員会から

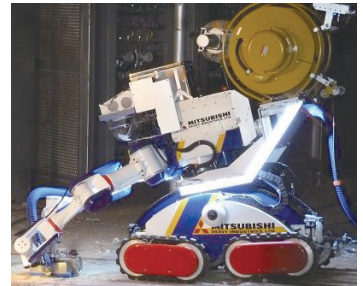
の指摘事項を反映するとともに、申請書全般にわたる見直しを行ったものの。再補正では、規制委の指摘事項を踏まえ、竜巻防護対策で想定する飛来物の仕様などを記載したほか、免震重要構設計基準地震動として、SSL(四百ガル)を策定している。

## 原子力推進など要望

国民会議 首相の指導力に期待

原子力国民会議(共同代表・有馬朗人・元文部大臣、今井敏・日本経団連名誉会長ら)は五日、決議文を安倍晋三総理に提出した。決議文では、

①原子力発電所の安全確保と利用および実効性の推進、②福島の復興に向けた地域社会とその経済基盤の再構築とより積極的な地域振興策——を要望。安全が十分に確認された原子力発電所の早期



福一・3号機の原子炉建屋1階  
ガレキ撤去など準備終え  
除染作業に着手

東京電力は二十三日、島第一3号機の原子炉建屋一階の除染作業を開始した。昨年七月から開始した遠隔操作式の重機を使ったガレキ撤去の作業が今年三月までに終わり、除染作業に移る準備を終えた。今後吸引除染装置を搭載した遠隔除染装置により床面の粉じん吸引などの作業を進めていく。写真は除染装置を搭載した作業台車

### 規制委、東通1

の審査を開始へ

東北電力の申請受け

原子力規制委員会は十八日、十日に申請された東北電力の東通発電所1号機の新規規制基準適合性

に關し、他のプラントと共通する論点について審査に着手することを確認した。規制委員会では、敷地内破砕帯評価が実施中のプラントについて共通する論点——

原子力委員会の所掌事項を見直し、定員を五名から三名に減員する改正原子力委員会設置法が二十日の参議院本会議で成立した。施行は、公布から六か月以内の政令で定める。同日、公布された

六ヶ所村長選挙は戸田氏初当選  
共済共栄を主張し  
青森県六ヶ所村長の任期満了に伴う選挙が二十日、投票開票され、前副村長の戸田衛氏が初当選した。

燃料サイクル施設との共存共栄を支持する戸田氏は現職の古川村長から後継指名されていた。

### この一週間の出来事

- ・14年版科学技術白書が公表(20日)
- ・富岡製糸場が世界遺産に登録(21日)
- ・イノベーション・コースト研が報告書(23日)

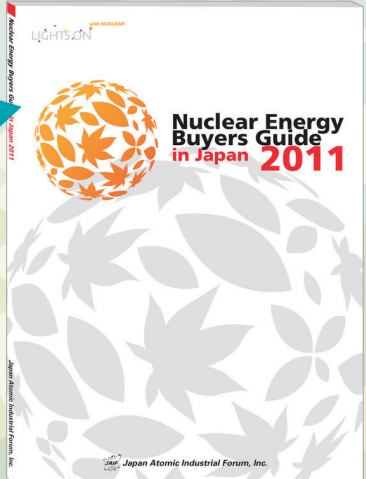
### 原産新聞の紙面から

- ◇国内ニュース
  - ・原子力10社の安全性向上の取組出そろ(2面)
  - ・電気料金値上げで半数企業が経常利益減(2面)
  - ・消費者白書、食品中の放射能を取り上げ(2面)
  - ・レーザー使い福島第一事故炉内を観察(4面)
- ◇海外ニュース
  - ・英国が中国との民生用原子力協力強化(3面)
  - ・仏エネ相がエネルギー移行法案を提案(3面)
  - ・アルストムがGEの買収提案を選択(3面)

# Nuclear Energy Buyers Guide in Japan 2014

9月刊行

掲載企業募集!



(2011年度版)

- 海外向けに原産協会会員各社の業務内容を英文で紹介!
- 日本の原子力産業界の全体像を示す唯一の資料!
- 海外VIP来日時や各種海外展示会等で配布予定!

★詳細は全会員企業様宛にメールにてお知らせ済みです

お気軽に

お問合せください



一般社団法人 日本原子力産業協会  
政策・コミュニケーション部  
バイヤーズガイド係

buyers2014@jaif.or.jp TEL 03-6812-7109